

事務事業名	労働事務事業			事業コード	05020100101		
所管部署	観光産業課	電話	50-3153	記入者名	由川・大道		
事業対象	雇用情報提供事業…市内の求職者 勤労福祉団体助成事業…坂井市勤労者協議会の会員（勤労者）						
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	雇用の創出			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	有	坂井市補助金等交付規則、坂井市産業経済部観光産業課所管補助金等交付要綱					
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	雇用情報提供事業 ハローワークより情報提示依頼のあった雇用情報を、市の求職者に提供します。国や県等が開催する就職相談会等の広報周知や、若者層に対するの労働意欲の喚起等、雇用機会の確保や支援体制の充実を目的としています。						
	勤労福祉団体助成事業 雇用情報提供事業 ハローワークより送られてくる雇用情報を庁舎内の情報コーナーに掲示 国・県等の雇用や労働に関する制度や各種セミナー等の情報の周知、広報 カウンセラー相談の実施						
	勤労福祉団体助成事業 坂井市勤労者協議会に対する補助金の交付 20万円						

すぐにできる改善提案	関係団体との連携を強化し、雇用情勢に即した施策を展開していきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	市内事業所の労働者を非正規から正規雇用した場合や育児休業取得者の代替要員を確保し、当該休業取得者を原職等に復帰させた事業所に対して支援していきます。		
中長期的に取り組むべき改善提案	国・県・市・事業者がそれぞれの果たすべき役割を認識しながら、効果的な施策の推進を図っていきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	国・県等の実施する事業や施策について、市広報誌やホームページ、チラシの配布等を通じて積極的な周知広報を行っています。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	労働費	項	労働諸費	目	労働諸費				
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	4千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	301千円	4,701千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	301千円	4,705千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.45人	3,163千円	0.50人	3,555千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.45人	3,163千円	0.50人	3,554千円	人	千円	人	千円
	総事業費		3,464千円	8,259千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		3,464千円	8,259千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	3,464千円	8,259千円	千円	千円	千円	千円				

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	雇用対策については、ハローワークをはじめとした、国・県等関係機関との情報共有、連携を強化し効率的な施策の推進に努めます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	関係機関と連携しながら、役割に応じた施策を実施します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の中で、より効果的な施策の推進に努めます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の体制で、努力して施策の推進に努めます。			
すぐにできる改善提案	関係団体との連携を強化し、雇用情勢に即した施策を展開していきます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	国・県・市・事業者がそれぞれの果たすべき役割を認識しながら、効果的な施策の推進を図っていきます。			
目標年度 -- 年度				

指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
成果	会員数（勤労者協議会）	人	目標値 160 達成率	160 達成率	160 達成率	160 達成率
		実績値	154 96.25	170 106.25	149 93.12	157 98.12
		人	目標値	達成率	達成率	達成率
		実績値				
		人	目標値	達成率	達成率	達成率
		実績値				
		人	目標値	達成率	達成率	達成率
		実績値				
		人	目標値	達成率	達成率	達成率
		実績値				
		人	目標値	達成率	達成率	達成率
		実績値				

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

事務事業名	シルバー人材センター事業			事業コード	05020105101		
所管部署	観光産業課	電話	50-3153	記入者名	大道 政男		
事業対象	公益社団法人 坂井市シルバー人材センターの会員（高齢者）						
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）		
	基本計画	雇用の創出		事業種別	ソフト事業		
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	有	高齢者等の雇用の安定等に関する法律					
根拠例規	有	坂井市補助金等交付規則、産業経済部観光産業課所管補助金等交付要綱					
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	定年退職後等の高齢者の就業機会を確保し、生きがいの充実及び社会参加の推進を図るとともに、健康的な生活の推進と高齢者の知識、技術を広く地域社会に活用することを目的とします。						
	坂井市シルバー人材センターに対し補助金の交付を行います。（国庫補助基準に基づく助成）						
事業の目的・事業の概要等	○補助金 12,225千円 坂井市シルバー人材センター事業活動補助金（高齢者就業機会確保事業）						
	◎運営費補助金 8,880千円 ◎企画提案方式事業補助金 3,345千円 社会地域における「教育」、「子育て」、「介護」及び「環境」分野の需要に対応するため、シルバー又は活動拠点となる地方公共団体が連携し、共同で企画提案した事業						

すぐに行ける改善提案	高齢者の雇用就業に関する関係法令の改正状況や国の施策の動向を見極めながら、法令の趣旨に基づき、シルバー人材センターの事業・運営に必要な支援を行うとともに、事務事業の効果的かつ効率的な執行に努めるよう中長期的な観点から指導・助言をしていきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	同法人の平成24年度～平成28年度までの中期基本計画に沿った事業が適正かつ効果的に執行されているかについて、指導・助言しました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	先行きが不安定な社会経済情勢のなか、高齢者の雇用就業機会の確保については、今後も厳しい状況が続くと考えられます。このため、シルバー人材センター自らも中長期的なビジョンを策定し、会員が一丸となって安全適正就業と経営改善等の努力を継続していく必要があります。市としては、高齢者の雇用機会の確保と生きがいの充実、社会参加の促進を図る観点から、この様な取り組みを全面的に支援するとともに、同センターが自主・自立で運営ができるよう建設的な指導助言を継続してまいります。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	中期基本計画の執行にあたり、就業機会の拡大、安全・適正就業の推進、健全な財政運営について、今後も協議を重ね、指導助言を行ってまいります。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
効率性	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
有効性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	労働費	項	労働諸費	目	労働諸費				
コスト	事業費		平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度	
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			その他	12,225千円	9,760千円	千円	千円	千円	千円	
			事業費合計	12,225千円	9,760千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	0.15人	1,054千円	0.10人	711千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.15人	1,054千円	0.10人	711千円	人	千円	人	千円
	事業費	特定財源	総事業費		13,279千円	10,471千円	千円	千円	千円	千円
			国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円		
一般財源			13,279千円	10,471千円	千円	千円	千円	千円		
財源合計	13,279千円	10,471千円	千円	千円	千円	千円				

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	高齢者の就業機会の確保と社会参加を促進するため、国の施策や方針を基本に市として支援を継続する必要があります。事業の運営については、より効率的な運用・簡素化の必要があります。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	市と関係機関の連携を強化するとともに、シルバー人材センター自らも公益社団法人としての役割を自覚しながら活動していく必要があります。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	社会経済情勢の動向を考慮すべき必要がありますが、基本的には国の基準に基づいた対応を進めます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現在の体制の中で、継続して施策の推進に努めます。			
すぐに行ける改善提案	高齢者の雇用就業に関する関係法令の改正状況や国の施策の動向を見極めながら、法令の趣旨に基づき、シルバー人材センターの事業・運営に必要な支援を行うとともに、事務事業の効果的かつ効率的な執行に努めるよう中・長期的な観点から指導・助言をしていきます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	先行きが不安定な社会経済情勢のなか、高齢者の雇用就業機会の確保については、今後も厳しい状況が続くと考えられます。このため、シルバー人材センター自らも中長期的なビジョンを策定し、会員が一丸となって安全適正就業と経営改善等の努力を継続していく必要があります。市としては、高齢者の雇用機会の確保と生きがいの充実、社会参加の促進を図る観点から、このような取り組みを全面的に支援するとともに、同センターが自主・自立で運営ができるよう建設的な指導助言を継続してまいります。			
目標年度 -- 年度				

	指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	
成果	会員数	人	目標値	1460	達成率 1430	達成率 1400	達成率 1400	
			実績値	1174	80.41	1236	86.43	1219
成果	就業延べ人数	人	目標値	130000	達成率 125000	達成率 145000	達成率 141000	
			実績値	123556	95.04	130247	104.2	129432
活動	事務費収入	千円	目標値	43847	達成率 47885	達成率 46978	達成率 46616	
			実績値	41340	94.28	43488	90.82	39685
活動	受注契約額	千円	目標値	618901	達成率 664000	達成率 730373	達成率 728616	
			実績値	595900	96.28	621288	93.57	624854
活動	受注契約数	件	目標値	10250	達成率 10150	達成率 11000	達成率 11000	
			実績値	9127	89.04	9660	95.17	9688
			目標値		達成率	達成率	達成率	
			実績値					

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

事務事業名	生活安定資金融資事業			事業コード	05020110101
所管部署	観光産業課	電話	50-3153	記入者名	大道 政男
事業対象	就業者（生計を維持するために自ら事業を営んでいる方及び勤労者）または勤労者（企業等に勤務し、賃金、給料等で生計を維持している労働者）				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	雇用の創出		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	融資に関する審査及び貸付業務
根拠法令	無				
根拠例規	有	坂井市生活安定資金融資要綱			
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	市内の就業者に生活資金の融資を行うことにより、就業者の生活安定と福祉の向上を図ります。				
	原資預託事務 指定金融機関（北陸労働金庫・福井信用金庫）との契約（預託金の支出返還） 預託額 北陸労働金庫110,000千円 福井信用金庫5,000千円				
	実績管理事務 実績管理 制度説明、啓発事務 利率改定周知、チラシ、広報等による制度案内				

すぐにできる改善提案	事業の趣旨及び目的のより一層の周知を図り、更なる生活の安定と福祉の向上に資する融資制度になるよう努めます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	預託先である労働信用金庫や福井信用金庫の金融機関を訪問し、積極的に融資されるよう協議しました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	社会経済情勢、雇用情勢及び利用状況を踏まえながら、金融機関と協調比率、限度額、利率、事務手続きの簡素化等の見直し・改善に努めます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況			

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	労働費	項	労働諸費	目	労働諸費				
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	131,000 千円	134,000 千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	131,000 千円	134,000 千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.15 人	1,054 千円	0.05 人	355 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.15 人	1,054 千円	0.05 人	355 千円	人	千円	人	千円
	事業費	総事業費	132,054 千円	134,355 千円	千円	千円	千円	千円		
		特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
地方債			千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他			131,000 千円	134,000 千円	千円	千円	千円	千円		
一般財源		1,054 千円	355 千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	132,054 千円	134,355 千円	千円	千円	千円	千円				

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	厳しい経済雇用情勢の中、就業者の生活資金に対する公的融資制度については、需要もあり、有効に活用されていることから、今後も継続していく必要があります。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	今後も、行政が金融機関と強調する中で、取り組んでいく必要があります。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	基本的には現行の協調率により、利用状況に基づいた融資を行います。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の体制で、対応していきます。			
すぐにできる改善提案	事業の趣旨及び目的により一層の周知を図り、更なる生活の安定と福祉の向上に資する融資制度となるよう努めます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	社会経済情勢、雇用情勢及び利用状況を踏まえながら、金融機関との協調比率、限度額、利率、事務手続きの簡素化を見直し、改善に努めます。			
目標年度 -- 年度				

事業の成果	成果	融資件数	指標名	単位	年度	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		
			目標値	件	200	達成率	200	達成率	200	達成率	200	達成率		
						実績値	67	33.5	115	57.5	134	67	155	77.5
						目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
						実績値								
						目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
						実績値								
						目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
						実績値								
						目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
						実績値								
						目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
						実績値								

事務事業名	商工事務事業			事業コード	07010105101		
所管部署	観光産業課	電話	50-3153	記入者名	由川 直樹		
事業対象	福井県中小企業団体中央会、福井県貿易振興協議会、中小企業者						
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	商業の振興			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	商工業全般の振興を図るため、中小企業者、中小企業関係団体等を支援します。						
	○中小企業関係団体の支援 商工業全般の振興を図るため、市内中小企業の経営支援及び貿易に関する情報提供等を行う団体を支援します。						
	○中小企業振興計画の策定 中小企業振興基本条例に基づき、各種支援策を総合的かつ計画的に実施するための実行計画を中小企業に対するアンケート結果を踏まえ策定し、施策の展開を図る。						

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐに行える改善提案	市内中小企業の育成のため、各関係機関との連携を強化するとともに、収集した情報等については、必要とする企業へ提供していきます。		
目標年度	未設定	年度	
取組状況	市内中小企業の支援を目的とした坂井市中小企業振興計画を策定し、地域経済の持続的な発展と地域活力を創造するまちづくりの実現を目指します。		
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市中小企業振興計画は、平成27年度から平成36年度までの10年間を計画期間として、社会経済の変化に柔軟に対応するため、概ね3年間をめぐりに検証と評価を行い、施策の着実な推進を図ります。		
目標年度	平成36	年度	
取組状況	条例の9つの基本的施策に基づいた施策を、毎年（仮称）中小企業振興会議を開催した中で、検証及び評価していきます。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	商工費	項	商工費	目	商工総務費				
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	1,922	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	145	千円	47	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	451	千円	435	千円	千円	千円	千円	
		事業費合計	2,518	千円	482	千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	0.90	人	6,325	千円	0.65	人	4,621	千円
		臨時職員	0.00	人	千円	千円	0.00	人	千円	千円
		人件費合計	0.90	人	6,325	千円	0.65	人	4,621	千円
	総事業費	8,843	千円	5,103	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
分担金・負担金		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源		8,843	千円	5,103	千円	千円	千円	千円	千円	
財源合計	8,843	千円	5,103	千円	千円	千円	千円	千円		

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	中小企業の育成、海外情勢の発信・提供など、市単独では対応できない業務を実施する機関への負担金であるため継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状どおり、各関係機関・団体等が連携して取り組んでいく必要があります。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	各実施機関の事業について、構成団体等と内容・効果等に照らして、効果的な負担となるようチェックしていきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の体制の中で、施策の推進に努めます。			
すぐに行える改善提案	市内中小企業の育成のため、各関係機関との連携を強化するとともに、収集した情報等については、必要とする企業へ提供していきます。			
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	今後も、関係機関等を通じて、市内中小企業に対する育成指導及び海外情報の発信・提供を推進していきます。			
目標年度	--	年度		

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
成果	福井県貿易振興協議会への負担金	千円	目標値 325 達成率	325 達成率	325 達成率	325 達成率
		実績値	325 100	325 100	325 100	325 100
成果	福井県中小企業団体中央会への負担金額	千円	目標値 42 達成率	42 達成率	42 達成率	42 達成率
		実績値	42 100	42 100	42 100	42 100
活動	負担金支払先・福井県貿易振興協議会、福井県中小企業団体中央会	件	目標値 2 達成率	2 達成率	2 達成率	2 達成率
		実績値	2 100	2 100	2 100	2 100
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値			
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値			
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値			

事務事業名	商工会活動助成事業			事業コード	07010205101
所管部署	観光産業課	電話	50-3153	記入者名	由川・橋向
事業対象	坂井市商工会				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	商業の振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	その他	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	有 坂井市補助金等交付規則、坂井市産業経済部観光産業課所管補助金等交付要綱				
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

坂井市商工会が商工業の総合的な振興と地域社会の繁栄のために実施する中小企業や小規模事業者等振興事業に要する経費に対し支援することにより、地域経済の健全な発展に寄与することを目的とします。

商工会に対する補助金の交付

○補助金 45,000千円

- 坂井市商工会運営補助金 15,000千円
- 商工会の人的費、及び管理運営に要する経費
- 坂井市商工会事業補助金 30,000千円
- 商工会の経営改善普及事業、商工業の総合振興を図る事業、地域振興の充実を図る事業、会員育成強化事業に要する経費

【事業の目的・事業の概要等】

すぐにできる改善提案	坂井市商工会の事業補助金については、ニーズに対応した事業内容であるよう精査・協議しています。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	予算要求時での事業取り組み内容の確認や補助金申請及び実績報告書において、事業内容や執行額等を精査しています。		
中長期的に取り組むべき改善提案	今後も、商工会会員に対して効果的な支援策となるよう中小企業の状況把握に努め、市商工会と連携しながら補助対象事業の新規立案・見直しに取り組んでいきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	坂井市商工会と協議を重ね、有効な施策を推進していきます。		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

予算	款	商工費	項	商工費	目	商工振興費						
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度			
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			その他	45,848千円	48,863千円	千円	千円	千円	千円			
			事業費合計	45,848千円	48,863千円	千円	千円	千円	千円			
			人件費	正職員	0.40人	2,811千円	0.35人	2,488千円	人	千円	人	千円
				臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
				人件費合計	0.40人	2,811千円	0.35人	2,488千円	人	千円	人	千円
	総事業費	48,659千円	51,351千円	千円	千円	千円	千円					
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円				
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円				
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円				
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円				
その他			千円	千円	千円	千円	千円					
一般財源			48,659千円	51,351千円	千円	千円	千円					
財源合計		48,659千円	51,351千円	千円	千円	千円						

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	市内中小事業者支援のための市商工会への助成は必要と考えますが、助成の対象事業・補助基準を明確化し、より一層効果的な制度にしていく必要があります。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	市内商工業者の育成・支援、商工振興施策は市商工会との連携、助成により進めていく必要があります。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	事業内容、効果を検証しながら、より一層の有効な支援となるよう継続していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の体制で対応していきます。			
すぐにできる改善提案	坂井市商工会との事業補助金の対象事業についてはニーズに沿った内容になるよう精査・協議いたします。			
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	今後も、効果的な支援策となるよう、中小企業の状況の把握に努め、市商工会と連携しながら補助対象事業の新規立案・見直しに取り組んでいきます。			
目標年度	--	年度		

成果	指標名	単位	年度	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
成果	会員数	人	目標値	2000	達成率	2000	達成率	2000	達成率	2300	達成率
			実績値	1861	93.05	1871	93.55	1873	93.65	1915	83.26
活動	商工会運営補助金	千円	目標値	15000	達成率	13000	達成率	15000	達成率		達成率
			実績値	15000	100	13000	100	15000	100		--
活動	商工会事業補助金	千円	目標値	30000	達成率	35000	達成率	35000	達成率	55000	達成率
			実績値	30000	100	35000	100	30385	86.81	55000	100
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

【前年度改善案に対する取組状況】

【担当者評価】

【所属長評価】

事務事業名	商業振興対策事業		事業コード	07010210101	
所管部署	観光産業課	電話	50-3153	記入者名	橋向・小西
事業対象	①市内に本社または工場、事業所等を有する法人 ②市内に住所を有する個人				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	商業の振興		事業種別	補助金事業（事業）
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	有 坂井市補助金等交付規則、坂井市産業経済部観光産業課所管補助金等交付要綱				
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

本市の商業振興対策として、物産展参加及び商店街事業に対し助成を行うことにより、販路の拡大、商店街の活性化及び振興を図ります。

- ・物産展参加助成金（H26年度で終了）
自社製品の販路拡大等のための物産展参加に対する助成
【補助率等】1/3以内 40千円限度/1事業
【事業内容】物産展参加に要する経費（小間代・旅費・運搬費等）
- ・商店街等振興事業費補助金
商店街振興組合等が行う商店街環境整備事業及び商店街活性化事業に対する助成
商店街環境整備
【補助率等】1/2以内 1,000千円限度
【事業内容】商店街等が実施するハード事業に対する補助
- ・商店街活性化事業
【補助率等】1/3以内 500千円限度
【事業内容】商店街等が実施するソフト事業に対する補助
- ・商店街安心安全まちづくり環境整備事業補助金
商店街振興組合等が行う商店街安心安全環境整備事業に対する助成
商店街等安心安全まちづくり環境整備
【補助率等】1/2以内 予算に定める額を限度
【事業内容】商店街等が実施するハード事業に対する補助券発行事業補助金
- ・プレミアム商品券発行事業補助金
市内の消費喚起や事業所売上げ拡大に伴う対策として、発行に対するプレミアム分及び事務費を補助する。
【実施主体】坂井市商工会
【販売額】5億円 販売総額5億5000万円（プレミアム率10%）
【補助額】プレミアム5000万円の2/3 3300万円
事務費 600万円の1/2 300万円
商品券 1セット 11,000円（5万セット）

【事業のコスト】

予算	款	商工費	項	商工費	目	商工振興費				
		平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		
コスト	事業費	報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	38,638千円	2,501千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		事業費合計	38,638千円	2,501千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	0.30人	2,108千円	0.20人	1,422千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.30人	2,108千円	0.20人	1,422千円	人	千円	人	千円
		総事業費		40,746千円	3,923千円	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	一般財源		40,746千円	3,923千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	財源合計		40,746千円	3,923千円	千円	千円	千円	千円	千円	

【事業の成果】

指標名		単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
成果	申請件数	件	目標値	7	達成率 5	達成率 5	達成率 5
			実績値	8	114.29	7	140
活動	補助金対象団体への周知	回	目標値	2	達成率 2	達成率 2	達成率 2
			実績値	2	100	2	100
			目標値		達成率	達成率	達成率
			実績値				
			目標値		達成率	達成率	達成率
			実績値				
			目標値		達成率	達成率	達成率
			実績値				
			目標値		達成率	達成率	達成率
			実績値				

すぐに行える改善提案	坂井市商工会と連携し、市内事業者のニーズの把握に努め、効果的な支援策となるよう制度の啓発・PRに努めるとともに、実施事業の見直しを提案していきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	平成27年度より坂井市物産展等参加助成金を坂井市中小企業振興事業に統合、拡充を行います。		
中長期的に取り組むべき改善提案	事業の実績と効果を精査し、より一層の有効な支援策となるよう努めます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	坂井市中小企業振興事業を平成27年度より実施していきます。		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	地域の商店街等が自主的に取り組む新規開拓、活性化等の事業に対する支援として継続していく必要があると考えますが、事業内容が定例化しており、効果的支援になるよう提案していく必要があると考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	地域商店街の振興のため、行政施策として支援していく必要があると考えます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	事業内容を検証しながら助成を継続していきますが、より効果的な支援となるよう提案していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現在の体制で対応していきます。			
すぐに行える改善提案	坂井市商工会と連携し、市内事業者のニーズの把握に努め、効果的な支援策となるよう制度の啓発・PRに努めるとともに、実施事業の見直しを提案していきます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	事業の実績と効果を精査し、より一層の有効な支援策となるよう努めます。			
目標年度 -- 年度				

【所属長評価】

事務事業名	制度融資利子補給事業			事業コード	07010215101		
所管部署	観光産業課	電話	50-3153	記入者名	大道 政男		
事業対象	中小企業信用保険法に定める市内中小企業者						
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）		
	基本計画	商業の振興		事業種別	補助金事業（事業）		
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	有	坂井市補助金等交付規則、坂井市産業経済部観光産業課所管補助金等交付要綱					
関連計画・マニュアル	無						
事業の目的・事業の概要等	坂井市中小企業者等振興資金の融資を受けた中小企業者等の金利負担を軽減し、当該事業者の経営の安定を図ることを目的とします。						
	<p>坂井市制度融資利子補給事業 【利子補給率】 1% 【補給期間】 融資実行日から1, 095日間（3年間）</p> <p>中小企業者等振興資金融資を受けた資金に係る利子に対し利子補給金を交付することにより、中小企業者等の金利負担の軽減を図る。</p>						

すぐにできる改善提案	市の制度融資ばかりではなく、日本政策金融公庫が扱う小規模事業者経営改善資金（マル経資金）を含めた両制度の利息に係る助成を行っています。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況			
中長期的に取り組むべき改善提案	今後も、社会経済の動向及び関係団体等の意見を踏まえ、時代にマッチした制度内容となるよう見直しを図っていきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況			

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	商工費	項	商工費	目	商工振興費				
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	26,917千円	26,766千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	26,917千円	26,766千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.20人	1,406千円	0.30人	2,133千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.20人	1,406千円	0.30人	2,133千円	人	千円	人	千円
	総事業費		28,323千円	28,899千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		28,323千円	28,899千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計		28,323千円	28,899千円	千円	千円	千円	千円			

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	中小事業者の運転資金・設備資金に対する市の融資制度に係る利子の一部助成制度は、中小企業の健全な発展を支援する施策として、必要性が高い事業であると考えます。今後、社会経済情勢及び融資制度の利用実績等を踏まえ、より効果的な制度となるよう継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	金融機関との協調による融資制度に係る助成として継続することで効率的、効果的な支援ができると考えます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	融資制度の実績に基づいた現状を基本としながら、関係機関との連携により継続していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	関係機関との連携を強化しながら、現状の体制で対応していきます。			
すぐにできる改善提案	市の制度融資ばかりではなく、日本政策金融公庫が扱う小規模事業者経営改善資金（マル経資金）を含めた両制度の利息に係る助成することで、効果が高められると考えます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	今後も、社会経済の動向及び関係団体等の意見を踏まえ、時代にマッチした制度内容となるよう見直しを図っていきます。			
目標年度 -- 年度				

【所属長評価】

指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
成果	利子補給申請率	%	目標値 95 達成率 95	目標値 95 達成率 95	目標値 95 達成率 95	目標値 95 達成率 95
		実績値 92.3 97.16	実績値 92.6 97.47	実績値 89.6 94.32	実績値 90.0 94.74	
成果	振興資金利用件数	件	目標値 250 達成率 250	目標値 250 達成率 250	目標値 250 達成率 250	目標値 250 達成率 250
		実績値 236 94.4	実績値 274 109.6	実績値 296 118.4	実績値 256 102.4	
活動	チラシ・ホームページ更新	回	目標値 2 達成率 2	目標値 2 達成率 2	目標値 2 達成率 2	目標値 2 達成率 2
		実績値 2 100	実績値 2 100	実績値 2 100	実績値 2 100	
活動	対象者・銀行への案内	回	目標値 2 達成率 2	目標値 2 達成率 2	目標値 2 達成率 2	目標値 2 達成率 2
		実績値 2 100	実績値 2 100	実績値 2 100	実績値 2 100	
			目標値 達成率	目標値 達成率	目標値 達成率	目標値 達成率
			実績値	実績値	実績値	実績値
			目標値 達成率	目標値 達成率	目標値 達成率	目標値 達成率
			実績値	実績値	実績値	実績値

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

事務事業名	中小企業事業振興資金融資事業			事業コード	07010215106
所管部署	観光産業課	電話	50-3153	記入者名	大道 政男
事業対象	中小企業信用保険法に定める市内中小企業者				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	商業の振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	有	坂井市補助金等交付規則、坂井市産業経済部観光産業課所管補助金等交付要綱			
関連計画・マニュアル	無				

【前年度改善案に対する取組状況】

事業の目的・事業の概要等

中小企業者等振興資金預託事業
金融機関と協調した中小企業事業者向けの融資事業で、市内の中小企業者等に対し、経営基盤の強化及び事業の活性化を促進するために必要な資金を低利で融資することにより、本市産業の発展に寄与することを目的とします。

市内の指定金融機関に必要な原資を預託（金融機関の協調5倍）

【制度内容】

◎一般資金（運転資金・設備資金）

・融資期間

運転資金 7年以内（据置1年以内）

設備資金 7年以内（据置6ヶ月以内）

・融資限度額

運転資金 1,000万円

設備資金 3,000万円

◎開業資金

・融資期間 7年以内（据置1年以内）

・融資限度額 1,500万円

○預託額

福井銀行 1億3,600万円 福井信用金庫 2億 700万円

北陸銀行 9,400万円 福邦銀行 8,200万円

すぐに行ける改善提案	市の制度融資ばかりではなく、日本政策金融公庫の小規模事業者経営改善資金（マル経資金）、県の制度融資等の情報提供も行き、資金調達の上向きに努めます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	市内中小企業者等の経営基盤の強化や事業の活性化を促進するための融資を、金融機関の融資実績額に応じて、協調融資しています。		
中長期的に取り組むべき改善提案	社会経済の動向及び関係団体等の意見を踏まえ、時代にマッチした制度内容となるよう見直しを図っていきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況			

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	商工費	項	商工費	目	商工振興費				
コスト	事業費		平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度	
			報酬	千円	千円	千円	千円			
			委託費	千円	千円	千円	千円			
			需用費	25千円	25千円	千円	千円			
			役務費	千円	千円	千円	千円			
			その他	519,000千円	524,000千円	千円	千円			
			事業費合計	519,025千円	524,025千円	千円	千円			
	人件費		正職員	0.10人 703千円	0.45人 3,199千円	人	千円	人	千円	
			臨時職員	0.00人 千円	0.00人 千円	人	千円	人	千円	
			人件費合計	0.10人 703千円	0.45人 3,199千円	人	千円	人	千円	
	総事業費		519,728千円	527,224千円	千円	千円				
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円			
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円			
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円			
			地方債	千円	千円	千円	千円			
その他			519,000千円	524,000千円	千円	千円				
一般財源			728千円	3,224千円	千円	千円				
財源合計		519,728千円	527,224千円	千円	千円					

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	中小事業者の運転資金・整備資金に対して、市と金融機関が協調して実施する当融資制度は、現在の社会経済情勢や活用実績からみて、必要性が高い事業であると考えます。今後も、利用者、金融機関等の意見を踏まえ、より効果的な制度となるよう努めながら継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	金融機関との協調、市商工会との連携により、効果的・効率的な支援ができると考えます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	利用実績に基づいた現状を基本としながら、関係機関との連携により継続していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	関係機関との連携を強化しながら、現状の体制で対応していきます。			
すぐに行ける改善提案	市の制度融資ばかりではなく、日本政策金融公庫の小規模事業者経営改善資金（マル経資金）、県の制度融資等の情報提供も行き、資金調達の上向きに努めます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	今後も、社会経済の動向及び関係団体等の意見を踏まえ、時代にマッチした制度内容となるよう見直しを図っていきます。			
目標年度 -- 年度				

	指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	
成果	利子補給申請率	%	目標値	95	達成率 95	達成率 95	達成率 95	
			実績値	92.3	97.16	92.6	97.47	89.6
成果	振興資金利用件数	件	目標値	250	達成率 250	達成率 250	達成率 250	
			実績値	236	94.4	274	109.6	296
活動	チラシ・ホームページ更新	回	目標値	2	達成率 2	達成率 2	達成率 2	
			実績値	2	100	2	100	2
活動	対象者・銀行への案内	回	目標値	2	達成率 2	達成率 2	達成率 2	
			実績値	2	100	2	100	2
			目標値		達成率	達成率	達成率	
			実績値					
			目標値		達成率	達成率	達成率	
			実績値					

【事業の成果】

【所属長評価】

事務事業名	マル経融資利子補給事業			事業コード	07010215111		
所管部署	観光産業課	電話	50-3153	記入者名	大道 政男		
事業対象	日本政策金融公庫が扱う小規模事業者経営改善資金（マル経資金）の融資を受けた小規模事業者						
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	商業の振興			事業種別	補助金事業（事業）	
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託		委託内容		
根拠法令	無						
根拠例規	有	坂井市補助金等交付規則、産業経済部観光産業課所管補助金等交付要綱					
関連計画・マニュアル	無						

【事業の概要】

日本政策金融公庫が扱う小規模事業者経営改善資金（マル経資金）の融資を受けた小規模事業者の金利負担を軽減し、当該事業者の経営の安定を図ることを目的とします。

小規模事業者経営改善資金（マル経資金）の融資を受けた資金に係る利子に対し利子補給金を交付

【利子補給率】
マル経資金融資率から福井県が利子補給する相当利率を控除して得た利率に、2分の1を乗じて得た率（1.0%を限度とする。）をマル経資金融資利率で除して得た率に支払利子額を乗じて得た額（ただし、1円未満の端数切捨て）

【補給期間】
融資を受けた日（据置期間を設けた場合は、期間満了日の翌日）から起算して2年を経過する日の属する月まで

【事業の目的・事業の概要等】

予算	款	商工費	項	商工費	目	商工振興費				
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	1,134 千円	630 千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		事業費合計	1,134 千円	630 千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	0.15 人	1,054 千円	0.10 人	711 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.15 人	1,054 千円	0.10 人	711 千円	人	千円	人	千円
	総事業費		2,188 千円	1,341 千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源			2,188 千円	1,341 千円	千円	千円	千円	千円	千円	
財源合計		2,188 千円	1,341 千円	千円	千円	千円	千円	千円		

指標名	単位	年度	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度	
成果	利子補給申請率	%	目標値	100	達成率	100	達成率	100	達成率	達成率
			実績値	95.9	95.9	95.92	95.92	93.75	93.75	
成果	マル経資金利用件数	件	目標値	50	達成率	48	達成率	36	達成率	達成率
			実績値	71	142	47	97.92	16	44.44	
			目標値		達成率		達成率		達成率	達成率
			実績値							
			目標値		達成率		達成率		達成率	達成率
			実績値							
			目標値		達成率		達成率		達成率	達成率
			実績値							
			目標値		達成率		達成率		達成率	達成率
			実績値							

すぐのできる改善提案	市の制度融資に係る利子補給事業との調整を図りながら推進します。
目標年度 未設定 年度	
取組状況	商工会と連携し、適正な補給額と事務手続きに努めました。引き続き、市の融資制度との調整を図りながら推進します。
中長期的に取り組むべき改善提案	市の制度融資や県の制度融資に係る利子補給制度との整合性を踏まえながら見直しを図ります。
目標年度 未設定 年度	
取組状況	小規模事業所に特に厳しい社会情勢の中で、制度内容について他市の状況を踏まえて見直しを図ります。

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	中小事業者の運転資金・設備資金に対する無担保・無保証人の融資制度への利子補給は、利用者及び商工会活動に対する支援の点からみて、必要性が高い事業であると考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	市商工会との連携により継続することで効率的・効果的な支援ができると考えます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	利用実績に基づいた現状を基本としながら、商工会との連携を図り継続していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	商工会との連携を強化しながら、現在の体制で対応していきます。			
すぐのできる改善提案	市の制度融資に係る利子補給事業との調整を図りながら推進します。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	市の制度融資や県の制度融資に係る利子補給制度との整合性を踏まえながら見直しを図ります。			
目標年度 -- 年度				

【事業の成果】

事務事業名	工業振興対策事業			事業コード	07010225101		
所管部署	観光産業課	電話	50-3153	記入者名	小西 和之		
事業対象	市内の織物団体						
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）		
	基本計画	工業の振興		事業種別	補助金事業（団体）		
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	有 坂井市補助金等交付規則、坂井市産業経済部観光産業課所管補助金等交付要綱						
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	伝統的地場産業である織物・繊維産業の関連団体が実施する新製品の開発、人材育成、市内外への情報発信等の事業を支援することにより、織物・繊維産業の振興を図ります。						
	地場産業である繊維産業の振興を図るために織物団体が行う試験研究事業、先進地視察事業、展示会出展及び販路開拓事業等に対する助成 ○補助金（織物振興事業費補助金） 847千円						
事業の目的・事業の概要等	1. 団体個別事業費補助金 補助限度額（1補助事業20万円） 事業の内容・補助率等 1) 試験研究事業 補助対象経費の2/3以内 2) 先進地視察事業 補助対象経費の1/3以内 3) 展示会出展事業、販路開拓事業、市場調査事業及び人材育成事業 補助対象経費の1/2以内						
	2. 団体連携事業費補助金 補助限度額（1補助事業150万円） 事業の内容・補助率等 1) 試験研究事業 補助対象経費の2/3以内 2) 講習会事業、織物産業普及事業及び市場調査事業 補助対象経費の1/2以内 3) 先進地視察事業 補助対象経費の1/3以内						

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

【事業のコスト】

予算	款	商工費	項	商工費	目	商工振興費				
		平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		
コスト	事業費	報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	1,177	千円	420	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	1,722	千円	938	千円	千円	千円	千円	
		事業費合計	2,899	千円	1,358	千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	0.25	人	1,757	千円	0.33	人	2,346	千円
		臨時職員	0.00	人	千円	千円	0.00	人	千円	千円
		人件費合計	0.25	人	1,757	千円	0.33	人	2,346	千円
		総事業費	4,656	千円	3,704	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	一般財源	4,656	千円	3,704	千円	千円	千円	千円	千円	
	財源合計	4,656	千円	3,704	千円	千円	千円	千円	千円	

【事業の成果】

指標名		単位	年度	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度	
成果	申請件数	件	目標値	4	達成率	5	達成率	5	達成率	5	達成率
			実績値	4	100	3	60	3	60	4	80
活動	補助内容説明（対象となる団体に補助内容を説明している）		目標値	3	達成率	5	達成率	5	達成率	5	達成率
			実績値	3	100	3	60	5	100	5	100
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

すぐに行える改善提案	事業内容が、情報収集・先進地視察等と偏っており、結果としての事業活動に結びついていないので、関係団体と制度の趣旨と基本的な考え方を再度整理するとともに、内容に見直しも検討していきたいと考えます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	関係団体との制度の見直しを行ない、関係団体の展示会出展について支援したが、前年度以上のマッチングにより有益な実績が得られました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	市商工会、関係団体等との協議により、制度の内容及び対象業種、事業の拡大等も含め、抜本的な見直しを進めていきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	補助制度を適宜、見直していきます。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

【所属長評価】

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	地場産業である繊維産業の振興を図るための新商品開発・販路拡大に対する支援については継続する必要があると考えますが、効果的な活用がされるための制度の見直しが必要であると考えられます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	地場産業を中心とした市内中小事業者・工業の育成・振興は、行政施策として今後も継続していく必要があると考えます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の継続を基本としながら、企業実績の内容、効果を検証しながらより効果的な制度内容となるよう検討・協議していく必要があります。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の体制の下で、関係機関・団体との連携しながら対応していきます。			
すぐに行える改善提案	事業内容が、情報収集・先進地視察等と偏っており、結果としての事業活動に結びついていないので、関係団体と制度の趣旨と基本的な考え方を再度整理するとともに、内容に見直しも検討していきたいと考えます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	市商工会、関係団体等との協議により、制度の内容及び対象業種、事業の拡大等も含め、抜本的な見直しを進めていきます。			
目標年度 -- 年度				

事務事業名	観光協会助成事業			事業コード	07010400101		
所管部署	観光産業課	電話	50-3152	記入者名	嶋川 貴義		
事業対象	坂井市三国観光協会、坂井市丸岡観光協会						
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	観光情報の発信			事業種別	補助金事業（団体）	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	有	坂井市補助金等交付規則 産業経済部観光産業課所管補助金等交付要綱					
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	観光協会が行う観光地の活性化事業、観光資源の開発及び宣伝事業に要する経費に対して支援することにより、観光の振興を図ります。						
	観光協会の管理運営費、負担金及び観光PR、出向宣伝等の活動費に対する助成 ○補助金 ・三国観光協会補助金 3,200,000 ・丸岡観光協会補助金 840,000 【補助率】人件費及び管理運営費 1/2以内、負担金及び活動費10/10以内						
事業の目的・事業の概要等							

すぐにできる改善提案	観光協会が実施する事業は、それぞれ三国町・丸岡町の地域に限定された事業であり、各会員の会費負担等もあります。会員が企画立案し、主体的に実施できる事業として、会員個々が十分に認識しながら進めていく必要があります。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	観光協会が実施する事業は、それぞれ三国町・丸岡町の地域に限定された事業であり、各会員の会費負担等もあります。会員が企画立案し、主体的に実施できる事業として、会員個々が十分に認識しながら引き続き進めていく必要があります。		
中長期的に取り組むべき改善提案	市の観光振興事業は、観光連盟・観光協会・行政がそれぞれの見地から役割を担っていますが、今後、できるだけ観光連盟に集約することとし、行政は条件整備や後方支援・他自治体との連携に見直しを図っていきます。この中で、2つの観光協会の弱体化も窺われ、組織のあり方についても検討していく必要があると考えています。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	市の観光振興事業は、観光連盟・観光協会・行政がそれぞれの見地から役割を担っていますが、今後も、できるだけ観光連盟に集約することとし、行政は条件整備や後方支援・他自治体との連携に見直しを図っていきます。この中で、2つの観光協会の弱体化も窺われ、組織のあり方についても引き続き検討していく必要があると考えています。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
効率性	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
有効性	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	商工費	項	商工費	目	観光振興費				
		平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		
コスト	事業費	報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	4,040 千円	4,040 千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		事業費合計	4,040 千円	4,040 千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	0.06 人	422 千円	0.35 人	2,488 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.06 人	422 千円	0.35 人	2,488 千円	人	千円	人	千円
		総事業費	4,462 千円	6,528 千円	千円	千円	千円	千円	千円	
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		一般財源	4,462 千円	6,528 千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		財源合計	4,462 千円	6,528 千円	千円	千円	千円	千円	千円	

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	観光振興事業は民間と行政がそれぞれの役割を分担しながら実施していくことで、観光客のニーズにマッチした、より効果的で柔軟な対応ができます。この意味で、現在の三国観光協会・丸岡観光協会が地域の実情に即した活動を会員自ら企画立案・実施していくことは評価できます。今後、事業内容を精査しながら助成していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	観光客のニーズに対応した事業、「おもてなし」を実施するためには、地域の観光に直接携わる関係者等の取り組みは重要であり、行政として支援を継続していく必要があります。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	現状を基本に、事業内容・効果の検証を踏まえ助成していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	現在の体制のもとで支援していきます。			
すぐにできる改善提案	観光協会が実施する事業は、それぞれ三国町・丸岡町の地域に限定された事業であり、各会員の会費負担等もあります。会員が企画立案し、主体的に実施できる事業として、会員個々が十分に認識しながら進めていく必要があります。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	市の観光振興事業は、観光連盟・観光協会・行政がそれぞれの見地から役割を担っていますが、今後、できるだけ観光連盟に集約することとし、行政は条件整備や後方支援・他自治体との連携に見直しを図っていきます。この中で、2つの観光協会の弱体化も窺われ、組織のあり方についても検討していく必要があると考えています。			
目標年度 -- 年度				

指標名		単位	年度	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度	
成果	観光客入込数（坂井市）	人	目標値	5811200	達成率	5675000	達成率	5543000	達成率	5413400	達成率
			実績値	4495054	77.35	4331394	76.32	3906694	70.48	3764757	69.55
活動	観光客入込数（丸岡地区）	人	目標値	800000	達成率	800000	達成率	800000	達成率	800000	達成率
			実績値	787739	98.47	797200	99.65	762130	95.27	780344	97.54
活動	観光客入込数（三国地区）	人	目標値	3000000	達成率	3000000	達成率	3000000	達成率	4000000	達成率
			実績値	2772188	92.41	2767865	92.26	2792888	93.1	2639085	65.98
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

事務事業名	観光ビジョン戦略事業			事業コード	07010400116
所管部署	観光産業課	電話	50-3152	記入者名	嶋川 貴義
事業対象	坂井市観光連盟・坂井市三国観光協会・坂井市丸岡観光協会をはじめ、市内で観光に携わる観光施設・宿泊施設・土産物屋・飲食店・農林水産業者・商工業の団体・企業。				
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	観光資源の個性と魅力づくり		事業種別	ソフト事業
実施主体	その他	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	県・県観連事業の参加、本市の観光PR(広告掲載・広報資料作製・出向宣伝等)
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有	坂井市観光ビジョン戦略基本計画			
事業の概要	坂井市内をはじめ、その周辺も合わせた観光PRを行うことにより、宿泊を伴う滞在型観光の推進、各種観光資源を活用した坂井市観光ブランドの構築を行います。また、様々な業種と連携して事業に取り組むことで、観光産業の裾野を広げながら、観光に起因する経済効果の市内全域への波及を図ります。				
	坂井市観光ビジョン戦略基本計画に基づき、坂井市観光連盟がけん引役となり、積極的に観光情報の発信や観光地としての魅力向上を行います。				
事業の目的・事業の概要等	○委託料 14,000千円 ・観光ビジョン戦略事業業務委託料 【事業委託先】 坂井市観光連盟 【事業内容】 観光商談会への参加、観光イベントの県外でのPR、観光情報の広告掲載、観光パンフレット等の広報資料作製、ホームページによる観光情報発信、もてなし力向上のための研修会開催、観光に関する取材等への協力、等。				
	○補助金 7,343千円 ・坂井市学生合宿促進事業補助金 市内の宿泊施設を利用する県外の学生団体に対する宿泊費の一部助成、及び地域交流活動を行った場合。 【補助率等】 @1,000円/人泊(1団体につき300人泊上限) @250円/1回 【補助対象者】 県外の高校・短大・大学等の合宿を実施する学生団体 【補助条件】 10名以上の団体が2泊以上市内の宿泊施設に宿泊すること。				

【事業の概要】

【事業のコスト】

予算	款	商工費	項	商工費	目	観光振興費				
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	14,597	千円	19,083	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	389	千円	378	千円	千円	千円		
		その他	8,340	千円	9,189	千円	千円	千円		
		事業費合計	23,326	千円	28,650	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.75	人	5,271	千円	2.50	人	17,773	千円
		臨時職員	0.00	人	千円	千円	2.00	人	4,104	千円
		人件費合計	0.75	人	5,271	千円	4.50	人	21,876	千円
	事業費	総事業費	28,597	千円	50,526	千円	千円	千円	千円	
		特定財源	国県支出金	3,797	千円	8,755	千円	千円	千円	
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円			
分担金・負担金			千円	千円	千円	千円				
地方債			千円	千円	千円	千円				
その他			千円	千円	千円	千円				
一般財源		24,800	千円	41,771	千円	千円	千円			
財源合計		28,597	千円	50,526	千円	千円	千円			

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度				
成果	観光客入込数	目標値	4500000	達成率	4000000	達成率	3830000	達成率	5389000	達成率
		実績値	4495054	99.89	4331394	108.28	3913300	102.17	3777300	70.09
成果	学生合宿事業補助金	目標値	10000	達成率	10000	達成率	6000	達成率	5000	達成率
		実績値	7279	72.79	7343	73.43	7080	118	4972	99.44
活動	情報発信(広告掲載)	目標値	11	達成率	11	達成率	11	達成率	11	達成率
		実績値	9	81.82	12	109.09	10	90.91	14	127.27
活動	情報発信(広報資料)	目標値	5	達成率	5	達成率	5	達成率	6	達成率
		実績値	7	140	3	60	6	120	5	83.33
活動	出向宣伝(観光商談会・観光PR)	目標値	6	達成率	6	達成率	6	達成率	6	達成率
		実績値	7	116.67	14	233.33	6	100	7	116.67
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値								

すぐにできる改善提案	市観光連盟のあり方を見直し、事業内容の再検討・事務局の体制強化を図ります。		
目標年度	平成27	年度	
取組状況	平成26年中に、法人化および旅行業登録を完了しました。引き続き、部会制を設ける等体制の強化に努めます。		
中長期的に取り組むべき改善提案	市観光連盟の組織強化とともに、事業内容により市との役割分担を行い、会員が知恵を出し合い協力しながら、観光誘客に有効・効果的な事業の企画立案を行う実施していく必要があります。また、会員の基本となる市観光ビジョン戦略基本計画については定期的に見直しを行い、観光客のニーズにあった施策の推進を図ります。さらに、将来を見据えながら、市観光連盟・三国観光協会・丸岡観光協会の組織体制・役割分担の在り方等について検討を進める必要があります。		
目標年度	平成31	年度	
取組状況	部会制を設ける等により、組織体制の強化に努めます。旅行業登録を完了したことにより、坂井市の魅力をPRできる旅行商品の造成を実現します。また、観光に関連する団体の調整役となることで連携を深め、会員の増加を目指します。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？(国、県、民間の活動と重複していませんか？)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等)を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？(事業の成果が十分に上がっていますか？)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

【所属長評価】

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	市観光ビジョン戦略に基づき、観光客の動向を踏まえるとともに、観光連盟の組織強化およびより効果的な事業企画・実施を図っていきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	市観光連盟を主体としながら、事業の内容により市との役割分担を進めていきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	高速交通体系の整備、観光客のニーズを踏まえた中で、観光誘客を図るための施策の充実・拡大は重要ではありますが、コストの増大を避けるため事業効果を検証しながらスクラップ&ビルドを基本としてスピーディーな事業展開を図ります。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	事業の主体となる市観光連盟の組織強化は重要であり、体制の整備は不可欠であるなかで、観光協会との統合を見据えた人員配置について検討していきます。			
すぐにできる改善提案	市観光連盟のあり方を見直し、事業内容の再検討・事務局の体制強化を図ります。			
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	観光客のリピート率向上のため、観光地・観光施策の磨き上げと共に、接客マナーや訪れた方々の満足度を高めるための施策を坂井市観光連盟を中心に企画、実施します。			
目標年度	--	年度		

事務事業名	郷土芸能振興事業		事業コード	07010405101		
所管部署	観光産業課	電話	50-3152		記入者名	嶋川 貴義
事業対象	市民、観光客、三国祭関係区、三国祭保存振興会					
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	観光資源の個性と魅力づくり		事業種別	補助金事業（事業）	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施		委託内容	
根拠法令	無					
根拠例規	有	坂井市補助金等交付規則 産業経済部観光産業課所管補助金交付要綱				
関連計画・マニュアル	無					

【事業の概要】

県の無形民俗文化財に指定されている三国祭における山車巡行、山車製作、山車屋台修理及び山車蔵建設・修理に助成を行うことにより、三国祭を保存し、後世に伝えとともに、観光の振興を図ります。

○修繕料
・三国祭市所有山車修繕（山車屋台車輪の修繕） 事業費180,360

○補助金
・三国祭山車事業費補助金
◎三国祭山車製作・保存事業
◎三国祭山車人形製作及び山車巡行に要する経費に対する助成
【補助率等】・山車人形製作に要する経費 600千円/1地区（自主製作の場合 700千円）
・山車巡行に要する経費 350千円/1地区
【事業実施主体】岩崎区（自主製作）、中元区、松ヶ下区、旭区、下新区、豎・上横区、三国祭保存振興会

◎三国祭山車屋台修理事業
山車屋台の修理に要する経費に対する助成
【補助率等】 1/2
【事業内容等】 桜町区 山車屋台修理 事業費4,104,000 補助金2,000,000

○役務費（市所有山車保険料） 177円

予算	款	商工費	項	商工費	目	観光振興費				
		平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		
コスト	事業費	報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	180千円	2,573千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	7千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	8,750千円	6,414千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		事業費合計	8,930千円	8,993千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	0.20人	1,406千円	0.20人	1,422千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.20人	1,406千円	0.20人	1,422千円	人	千円	人	千円
		総事業費		10,336千円	10,415千円	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	一般財源		10,336千円	10,415千円	千円	千円	千円	千円	千円	
財源合計		10,336千円	10,415千円	千円	千円	千円	千円	千円		

指標名		単位	年度	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度	
成果	観光客入込数	人	目標値	190000	達成率	190000	達成率	185000	達成率	185000	達成率
			実績値	180000	94.74	180000	94.74	230000	124.32	150000	81.08
活動	観光客入込数	人	目標値	190000	達成率	190000	達成率	185000	達成率	185000	達成率
			実績値	180000	94.74	180000	94.74	230000	124.32	150000	81.08
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

すぐのできる改善提案	三国祭の山車保存・継承のためには当然必要であるべき事業と考えますが、現状を維持しながらも、三国祭保存振興会や関係区と連携を取りながら事業を進めていきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	三国祭の山車保存・継承のためには当然必要であるべき事業と考えますが、現状を維持しながらも、三国祭保存振興会や関係区と連携を取りながら引き続き事業を進めていきます。		
中長期的に取り組むべき改善提案	三国祭の山車の保存継承については、経費的な支援は現状を基本に継続していく必要がありますが、巡行に係る人手不足も問題化してきており、三国祭保存振興会や地元区長会は対応について今後より一層の内部協議が求められます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	三国祭の山車の保存継承については、経費的な支援は現状を基本に継続していく必要がありますが、巡行に係る人手不足も問題化してきており、三国祭保存振興会や地元区長会は対応について引き続き内部協議が求められます。		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	このまま継続します。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	三国祭りの山車巡行は、15万人を超える観光イベント・資源でもあり、保存・継承は観光振興策での位置付けからも、継続して支援していく必要があると考えています。今後も関係団体・地元区と協議しながら一層の観光資源としての活用を目指していきたいと考えています。				
実施主体の方向性	現状どおり実施します。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	三国祭りの山車を保存継承していくため、観光資源としての位置付けから、支援を継続していく必要があると考えています。				
コスト投入の方向性	現状を維持します。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の補助額、事業内容から判断し、適当であると考えています。				
人員投入の方向性	現状を維持します。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の補助額、事業内容から判断し、適当であると考えています。				
すぐのできる改善提案	三国祭の山車保存・継承のためには当然必要であるべき事業と考えますが、現状を維持しながらも、三国祭保存振興会や関係区と連携を取りながら事業を進めていきます。				
目標年度 -- 年度					
中長期的に取り組むべき改善提案	三国祭の山車の保存継承については、経費的な支援は現状を基本に継続していく必要がありますが、巡行に係る人手不足が課題となっており、三国祭保存振興会や地元区長会との協議を重ねていきます。				
目標年度 -- 年度					

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度				
成果	観光客入込数	目標値	190000	達成率	190000	達成率	185000	達成率	185000	達成率
		実績値	180000	94.74	180000	94.74	230000	124.32	150000	81.08
活動	観光客入込数	目標値	190000	達成率	190000	達成率	185000	達成率	185000	達成率
		実績値	180000	94.74	180000	94.74	230000	124.32	150000	81.08
			目標値		達成率		達成率		達成率	
			実績値							
			目標値		達成率		達成率		達成率	
			実績値							
			目標値		達成率		達成率		達成率	
			実績値							

事務事業名	丸岡城桜まつり事業			事業コード	07010410101		
所管部署	観光産業課	電話	50-3152	記入者名	佐々木 勇真		
事業対象	市民、観光客						
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）		
	基本計画	観光資源の個性と魅力づくり		事業種別	補助金事業（事業）		
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	有	坂井市補助金等交付規則 産業経済部観光産業課所管補助金等交付要綱					
関連計画・マニュアル	無						

【事業の概要】

まつり、イベントを通して、観光誘客、坂井市のPRを行うとともに、市民の方に憩いのひとときを提供します。

丸岡城桜まつりに対する助成
 ○補助金
 ・丸岡城桜まつり事業費補助金
 【事業主体】 坂井市丸岡観光協会
 【補助率等】 補助対象経費の1/2以内
 【期間】 4月1日～20日
 【イベント内容】 ステージイベント、物産販売

【事業の目的・事業の概要等】

すぐにできる改善提案	丸岡城桜まつりは、観光資源であり地域活性化の一翼も担っています。実施主体である丸岡観光協会と市の役割分担の在り方について、協議をしていく必要があります。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	丸岡城桜まつりは、観光資源であり地域活性化の一翼も担っています。実施主体である丸岡観光協会と市の役割分担の在り方について、引き続き協議をしていく必要があります。		
中長期的に取り組むべき改善提案	今後、コストや事業内容、役割分担等、まつりの在り方について検証を行い、事業効果・費用対効果を踏まえ、事業内容の縮小・廃止を含め十分論議していく必要があります。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	今後、コストや事業内容、役割分担等、まつりの在り方について検証を行い、事業効果・費用対効果を踏まえ、事業内容の縮小・廃止を含め十分論議していく必要があります。		

【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B	
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

予算	款	商工費	項	商工費	目	観光振興費					
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		
			報酬	千円	千円	千円	千円				
			委託費	千円	千円	千円	千円				
			需用費	千円	千円	千円	千円				
			役務費	千円	千円	千円	千円				
			その他	2,000 千円	1,845 千円	千円	千円				
		事業費合計	2,000 千円	1,845 千円	千円	千円					
		人件費	正職員	0.94 人	6,606 千円	0.57 人	4,052 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	
		人件費合計	0.94 人	6,606 千円	0.57 人	4,052 千円	人	千円	人	千円	
	総事業費	8,606 千円	5,897 千円	千円	千円						
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円				
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円					
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円					
		地方債	千円	千円	千円	千円					
その他		千円	千円	千円	千円						
一般財源		8,606 千円	5,897 千円	千円	千円						
財源合計	8,606 千円	5,897 千円	千円	千円							

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	丸岡場及び春の桜は重要な観光資源であり、イベントとしての桜まつりは、今後も継続して実施していく必要があります。但し、事業のあり方・方向性等については見直し・改善を要するところが多く、関係機関と継続的に進めていかなければならないと考えています。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	まつり、イベントは基本的には企画委員会により企画・運営されることとなっておりますが、実質的には行政が関わる分野が非常に多く、企画委員会は形骸化しつつあります。今後は、民間と行政がそれぞれの責任分担を明確化しながら実施していく必要があります。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	現状維持を基本としますが、事業規模・効果・内容・協賛金・寄付金の状況を踏まえ、事業の改善・コストの増減を検討する必要があります。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	他課等の応援を得ながら実施しておりますが、一時的なことでもあり、現在の体制で対応していきます。			
すぐにできる改善提案	丸岡城桜まつりは、観光資源であり地域活性化の一翼も担っています。実施主体である丸岡観光協会と市の役割分担の在り方について、協議をしていく必要があります。			
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	今後、コストや事業内容、役割分担等、まつりのあり方について検証を行い、事業効果・費用対効果を踏まえ、事業内容の縮小・廃止を含め十分論議していく必要があります。			
目標年度	--	年度		

指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	
【事業の成果】	成果	観光客入込数	人	目標値 65000 達成率	65000 達成率	65000 達成率	65000 達成率
		実績値	66000	101.54	55000	84.62	50000
活動	観光客入込数	人	目標値 65000 達成率	65000 達成率	65000 達成率	65000 達成率	
		実績値	66000	101.54	55000	84.62	50000
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値				
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値				
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値				

事務事業名	三国花火大会事業			事業コード	07010410106		
所管部署	観光産業課	電話	50-3152	記入者名	嶋川 貴義		
事業対象	市民、観光客						
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）		
	基本計画	観光資源の個性と魅力づくり		事業種別	補助金事業（事業）		
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	有	坂井市補助金等交付規則 産業経済部観光産業課所管補助金等交付要綱					
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	まつり、イベントを通して、観光誘客、坂井市のPRを行うとともに、市民の方に憩いのひとときを提供します。						
	三国花火大会に対する助成 ○補助金 ・三国花火大会事業費補助金 【事業主体】 三国花火大会実行委員会 【補助率等】 補助対象経費の1/2以内 【大会開催日】 8月11日 【開催内容】 打上発数 約7,000発 事業費47,598,917 補助金16,000,000						

予算	款	商工費	項	商工費	目	観光振興費					
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度			
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	16,000 千円	5,500 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	16,000 千円	5,500 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.75 人	5,271 千円	0.55 人	3,910 千円	人	千円	人	千円	
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	
		人件費合計	0.75 人	5,271 千円	0.55 人	3,910 千円	人	千円	人	千円	
		総事業費		21,271 千円		9,410 千円		千円		千円	
		事業費	特定財源								
			国県支出金		千円		千円		千円		千円
			使用料・手数料		千円		千円		千円		千円
分担金・負担金			千円		千円		千円		千円		
地方債			千円		千円		千円		千円		
その他			千円		千円		千円		千円		
一般財源		21,271 千円		9,410 千円		千円		千円			
財源合計		21,271 千円		9,410 千円		千円		千円			

成果	指標名	単位	年度	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
観光客入込数	観光客入込数	人	目標値	200000	達成率	225000	達成率	210000	達成率	210000	達成率
			実績値	180000	90	220000	97.78	220000	104.76	200000	95.24
観光客入込数	観光客入込数	人	目標値	200000	達成率	225000	達成率	210000	達成率	210000	達成率
			実績値	180000	90	220000	97.78	220000	104.76	200000	95.24
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

すぐにできる改善提案	三国花火大会は、観光資源でもあります。観光資源でもありますが、地域経済活性化の一翼も大いに担っています。本来地域活力のもと実施されてきたものですが、市が事務局として負担する割合が大きくなってきています。もっと地域が主体的に関わるよう提案していきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	三国花火大会は、観光資源でもあります。観光資源でもありますが、地域経済活性化の一翼も大いに担っています。本来地域活力のもと実施されてきたものですが、市が事務局として負担する割合が大きくなってきています。もっと地域が主体的に関わるよう引き続き提案していきます。		
中長期的に取り組むべき改善提案	今後、花火大会のあり方、財源確保と市からのコスト投入の規模等について、事業内容の縮小・変更を含め十分議論していく必要があります。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	実行委員会のあり方、財源確保と市からのコスト投入の規模等について、事業内容の縮小・変更を含め十分議論していく必要があります。		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	三国花火大会は、市における最大の観光イベントであり、観光客入込数、経済波及効果の面において、今後も継続して実施していく必要があります。実施体制や事業のあり方等については見直し、改善を要するところもあり、関係団体と継続的に協議を進めていく必要があります。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	花火大会は、基本的には実行委員会により企画・運営されていることになっていますが、実質的には、企画・振興・財源確保等、行政が関わる分野が非常に多く、実行委員会は関係者の意見集約の場となっています。今後は、実行委員会として、民間と行政それぞれが主体性を持って責任分担を明確にしながら実施していく必要があります。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	現状維持を基本としますが、事業規模・効果・内容、協賛金の状況を踏まえ、事業内容の変更・見直しを検討しながら、効果に見合ったコスト投入を考えていく必要があります。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	他課等の応援を得ながら実施していきますが、一時的なことでもあり、現在の体制で対応していきます。			
すぐにできる改善提案	三国花火大会は、観光資源でもあります。観光資源でもありますが、地域経済活性化の一翼も大いに担っています。本来地域活力のもと実施されてきたものですが、市が事務局として負担する割合が大きくなってきています。もっと地域が主体的に関わるよう提案していきます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	今後、花火大会のあり方、財源確保と市からのコスト投入の規模等について、事業内容の縮小・変更を含めて十分議論していく必要があります。			
目標年度 -- 年度				

【事業の成果】

事務事業名	観光施設維持管理事業			事業コード	07010505101		
所管部署	観光産業課	電話	50-3152	記入者名	大井 美幸		
事業対象	市民・観光客						
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	観光のネットワーク化			事業種別	ハード事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
事業の目的・事業の概要等	市民及び観光客が安全で快適に利用できるよう、県下最大の観光地である坂井市の観光施設の適切な維持管理を図ります。						
	施設及び公園等の適切な管理運営						

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐにできる改善提案	訪れた観光客に良い印象を持ってもらえるよう、今後も、最小の経費で最大の効果を発揮することを念頭に、各関係団体等と協力しながら快適な環境整備に努めていく必要があります。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	市民及び観光客が安全で快適に利用できるよう観光施設の適切な維持管理を行っていきます。		
中長期的に取り組むべき改善提案	今後も、市・地元地域・観光関係団体が連携協力しながら、「おもてなし」の心を念頭に観光施設・環境の良好な維持管理に努めていく必要があります。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	市民及び観光客が安全で快適に利用できるよう観光施設の適切な維持管理を行っていきます。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	商工費	項	商工費	目	観光施設費			
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度	
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	10,816	10,443					
		需用費	2,489	2,667					
		役務費	75	83					
		その他	14,359	11,609					
	事業費合計	27,739	24,802						
	人件費	正職員	1.12 人	7,871 千円	0.82 人	5,829 千円			
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円			
		人件費合計	1.12 人	7,871 千円	0.82 人	5,829 千円			
	総事業費		35,610 千円		30,631 千円				
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	133 千円				
		使用料・手数料	545 千円	876 千円					
		分担金・負担金	千円	千円					
地方債		千円	千円						
その他		1,938 千円	1,860 千円						
一般財源		33,127 千円	27,762 千円						
財源合計		35,610 千円		30,631 千円					

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	市の観光客入込数は、県内一となっていますが、これは景観・施設・催しなど多様な観光資源を有していることを意味しています。訪れた観光客の「おもてなし」により、印象度、好感度は大きく左右されるものであり、これからの入込数の増加、リピーター化を図る上でも、観光施設の維持管理は重要と考えています。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	観光施設、観光施設の維持管理は、地域産業の活性化、まちづくりとも位置づけられるので、行政ばかりではなく、地域・観光関係団体が連携しながら取り組んでいく必要があります。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	経費については、現状維持を基本としながらも、観光客への「おもてなし」に配慮した環境整備となるよう取り組んでいきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状を基本としながらも、行政ばかりではなく、地域・観光関連団体等と連携しながら取り組んでいきます。			
すぐにできる改善提案	訪れた観光客に良い印象を持ってもらえるよう、今後も、最小の経費で最大の効果を発揮することを念頭に、各関係団体等と協力しながら快適な環境整備に努めていく必要があります。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	今後も、市・地元地域・観光関係団体が連携協力しながら、「おもてなし」の心を念頭に観光施設・環境の良好な維持管理に努めていく必要があります。			
目標年度 -- 年度				

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
成果	維持管理している施設の数	目標値	2	達成率	2	達成率
		実績値	2	100	2	100
活動	維持管理している施設の数	目標値	2	達成率	2	達成率
		実績値	2	100	2	100
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				

事務事業名	東尋坊観光交流センター管理運営事業			事業コード	07010510101
所管部署	観光産業課	電話	50-3152	記入者名	大井
事業対象	市民、観光客				
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	観光資源の個性と魅力づくり		事業種別	ハード事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

すぐにできる改善提案	観光情報の拠点施設として、観光客のニーズを踏まえ、有効な活用を図る必要があります。	
目標年度 未設定 年度		
取組状況	観光客のニーズを適切に捉え、対応していきます。	
中長期的に取り組むべき改善提案	観光情報の拠点施設として、市観光連盟、三国観光協会、市が連携して、施設の有効活用を図っていく必要があります。	
目標年度 未設定 年度		
取組状況	市観光連盟、三国観光協会の今後の運営のあり方について協議しました。	

【事業の概要】

福井県有数の観光地である東尋坊の魅力を高め、再整備を行うことによって、観光に訪れる方へのおもてなしと滞在型観光の推進を図ります。

東尋坊観光交流センター整備事業
地元商店街が作成した「東尋坊活性化プラン」に基づきながら、官民協力・連携のもと観光情報発信拠点を整備し、滞在型観光を推進する。

東尋坊観光交流センターの管理運営業務委託
委託先 坂井市三国観光協会
委託費 7,104,240

自家用電気工作物保安管理業務委託
委託先 北陸電気保安協会
委託費 123,249

消防用設備等総合・機器点検業務
委託先 三国エルピーガス販売協同組合
委託費 48,600（総合） 43,200（機器）

特殊建築物等定期調査
委託先 吉田企画株
委託費 91,800

【事業のコスト】

予算	款	商工費	項	商工費	目	観光施設費							
コスト	事業費		平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度				
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円				
			委託費	7,411	千円	7,504	千円	千円	千円				
			需用費	千円	735	千円	千円	千円	千円				
			役務費	2	千円	2	千円	千円	千円				
			その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円				
	事業費合計	7,413	千円	8,241	千円	千円	千円						
	人件費		正職員	0.15	人	1,054	千円	0.11	人	782	千円		
			臨時職員	0.00	人	千円	0.00	人	千円	人	千円		
			人件費合計	0.15	人	1,054	千円	0.11	人	782	千円	人	千円
			総事業費	8,467	千円	9,023	千円	千円	千円				
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円						
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円						
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円						
地方債			千円	千円	千円	千円							
その他			千円	千円	千円	千円							
一般財源			8,467	千円	9,023	千円	千円	千円					
財源合計			8,467	千円	9,023	千円	千円	千円					

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度		
成果	観光客入込数（東尋坊）	目標値	1300000	達成率	1300000	達成率	1300000	達成率
		実績値	1186880	91.3	1178900	90.68	1169400	89.95
活動	観光客入込数（東尋坊）	目標値	1300000	達成率	1300000	達成率	1300000	達成率
		実績値	1186880	91.3	1178900	90.68	1169400	89.95
		目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値						
		目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値						
		目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値						

【前年度改善案に対する取組状況】

【担当者評価】

【所属長評価】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
効率性	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
有効性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	東尋坊観光交流センターについては、市観光連盟・三国観光協会の事務所のほか、観光情報発信拠点として「東尋坊活性化プラン」を基本に地元商店街と連携しながら有効な活用を進めていく必要があります。			
実施主体の方向性	民間への移管を検討します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	市観光連盟、三国観光協会、行政が連携し運営しますが、観光案内・情報発信拠点との観点から、運営主体については、市観光連盟への移管も検討する必要があります。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	北陸新幹線の開通等さらなる高速交通体系の整備を見据え、新たな観光誘客を促進するためには、施設の充実に図る必要があります。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	人員は現状の体制において対応していきます。			
すぐにできる改善提案	観光情報の拠点施設として、観光客のニーズを踏まえ、有効な活用を図る必要があります。			
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	観光情報の拠点施設として、市観光連盟、三国観光協会、行政が連携して、施設の有効活用を図っていく必要があります。			
目標年度	--	年度		

事務事業名	ゆあぼ〜と管理運営事業			事業コード	07010510106		
所管部署	観光産業課	電話	50-3152	記入者名	大井 美幸		
事業対象	市内外の利用者および県内外の観光客						
総合計画	基本構想	住民とともに育むまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）		
	基本計画	効率的な行財政運営の推進		事業種別	指定管理者事業		
実施主体	指定管理者	実施手段	業務の全部を委託	委託内容			
根拠法令	有	地方自治法第244条の2第3項					
根拠例規	有	坂井市公の施設の指定管理者の指定の手続き等に関する条例及び同施行規則					
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	市管理から指定管理者に移行することにより、利用者に対するサービスの向上と経費削減を図ります。						
	三国温泉ゆあぼ〜と温泉施設として観光客や市民に対し憩いの場を提供するため、三国温泉ゆあぼ〜とを適切に管理運営します。また、三国温泉として、民宿、旅館及び越前三国国民休暇村への円滑な給湯業務を実施します。 ○委託料 指定管理委託料 42,592千円						
事業の目的・事業の概要等							

すぐにできる改善提案	施設の現状を把握することに努めました。		
目標年度 平成26 年度			
取組状況	定期的に管理者と情報交換を行いました。施設設備調査をもとに、施設の現状を把握し施設の方向性を検討しました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	現在の指定管理者制度を継続していく中で、将来の施設の方向性を検討します。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	施設設備調査をもとに、施設の現状を把握し施設の方向性を検討しました。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	商工費	項	商工費	目	観光施設費			
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度	
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	45,683千円	40,000千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	29千円	29千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	14,018千円	30,411千円	千円	千円	千円	千円	
		事業費合計	59,730千円	70,440千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	0.40人 2,811千円	0.40人 2,844千円	人	千円	人	千円	
		臨時職員	0.00人 千円	0.00人 千円	人	千円	人	千円	
		人件費合計	0.40人 2,811千円	0.40人 2,844千円	人	千円	人	千円	
	総事業費	62,541千円	73,284千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
分担金・負担金		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他		838千円	400千円	千円	千円	千円	千円		
一般財源	61,703千円	72,884千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	62,541千円	73,284千円	千円	千円	千円	千円			

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	平成27年度までは指定管理者制度を継続します。施設の運営については民間への移譲も含めた今後の方向性について検討します。			
実施主体の方向性	民間への移管を検討します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	平成28年度を目標に、民間への移譲を含めた今後の方向性について検討します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	平成27年度までは、現在の指定管理者制度を継続します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	平成27年度までは、現在の指定管理者制度を継続します。			
すぐにできる改善提案	平成27年度までは現在の指定管理者制度を継続しますが、民間への移譲を含めた今後の方向性についての課題等の洗い出しをします。			
目標年度 平成27 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	現在の指定管理者制度を継続していく中で、民間への移譲を含めた施設の今後の方向性を検討します。			
目標年度 平成28 年度				

【所属長評価】

指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度		
成果	利用者・入場者（H24より施設別に変更）	目標値	172000	達成率 167000	達成率 152000	達成率 405000		
		実績値	164623	95.71	167922	100.55	145250	95.56
活動	指導回数	目標値	15	達成率 15	達成率 15	達成率 12		
		実績値	15	100	15	100	15	100
		目標値		達成率	達成率	達成率		
		実績値						
		目標値		達成率	達成率	達成率		
		実績値						
		目標値		達成率	達成率	達成率		
		実績値						
		目標値		達成率	達成率	達成率		
		実績値						

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

事務事業名	丸岡観光情報センター管理運営事業			事業コード	07010510116
所管部署	観光産業課	電話	50-3152	記入者名	大井 美幸
事業対象	市内外の利用者および県内外の観光客				
総合計画	基本構想	住民とともに育むまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	効率的な行財政運営の推進		事業種別	指定管理者事業
実施主体	指定管理者	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	
根拠法令	有	地方自治法第244条の2第3項			
根拠例規	有	坂井市公の施設の指定管理者の指定手続き等に関する条例及び同施行規則			
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	市管理から指定管理者に移行することにより、利用者に対するサービスの向上と経費削減を図ります。				
	丸岡観光情報センター 丸岡城を訪れる観光客に対し、観光情報の拠点として積極的に坂井市の観光PR活動を行うとともに、市内の特産品等の販売を行い、再び訪れたいくなるよう「心」でのおもてなしに努めます。 ○委託料 指定管理委託料 4,374千円				
事業の目的・事業の概要等					

すぐに行ける改善提案	丸岡観光情報センターの運営については、平成29年度まで現在の指定管理者制度を継続します。	
目標年度 未設定 年度		
取組状況	定期的に管理者と情報交換を行いました。	
中長期的に取り組むべき改善提案	丸岡観光情報センターの運営については、平成29年度まで現在の指定管理者制度を継続しますが、その後、民間への買賃を検討します。	
目標年度 未設定 年度		
取組状況	定期的に管理者と情報交換を行ないました。	

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	C
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	商工費	項	商工費	目	観光施設費					
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度			
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
		委託費	4,374	4,250							
		需用費	千円	千円	千円	千円					
		役務費	11	11	千円	千円					
		その他	千円	110	千円	千円					
		事業費合計	4,385	4,371	千円	千円					
		人件費	正職員	0.25人	1,757	0.25人	1,777	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	0.25人	1,757	0.25人	1,777	人	千円	人	千円
	総事業費	6,142	6,148	千円	千円						
	事業費	特定財源	千円	千円	千円	千円					
		国県支出金	千円	千円	千円	千円					
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円					
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円					
地方債		千円	千円	千円	千円						
その他		千円	千円	千円	千円						
一般財源		6,142	6,148	千円	千円						
財源合計	6,142	6,148	千円	千円							

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	丸岡観光情報センターの運営については、平成29年度まで現在の指定管理者制度を継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	丸岡観光情報センターの運営については、平成29年度まで現在の指定管理者制度を継続します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	丸岡観光情報センターの運営については、平成29年度まで現在の指定管理者制度を継続します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	丸岡観光情報センターの運営については、平成29年度まで現在の指定管理者制度を継続します。			
すぐに行ける改善提案	丸岡観光情報センターの運営については、平成29年度まで現在の指定管理者制度を継続します。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	丸岡観光情報センターの運営については、平成29年度まで現在の指定管理者制度を継続しますが、その後、民間への買賃を検討します。			
目標年度 -- 年度				

指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度			
成果	利用者(H24より施設別に変更)	目標値	110000	達成率 100000	110000	達成率 405000			
		実績値	114839	104.4	100998	101	103044	93.68	389624
活動	指導回数	目標値	15	達成率 15	15	達成率 12			
		実績値	15	100	15	100	15	100	12
		目標値		達成率		達成率		達成率	
		実績値							
		目標値		達成率		達成率		達成率	
		実績値							
		目標値		達成率		達成率		達成率	
		実績値							
		目標値		達成率		達成率		達成率	
		実績値							

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

事務事業名	たけくらべ広場管理運営事業			事業コード	07010510126
所管部署	観光産業課	電話	50-3152	記入者名	大井 美幸
事業対象	市内外の利用者および県内外の観光客				
総合計画	基本構想	住民とともに育むまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	効率的な行財政運営の推進		事業種別	指定管理者事業
実施主体	指定管理者	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	施設の運営及び維持管理
根拠法令	有	地方自治法第244条の2第3項			
根拠例規	有	坂井市公の施設の指定管理者の指定の手続き等に関する条例及び同施行規則			
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	市管理から指定管理者に移行することにより、利用者に対するサービスの向上と経費削減を図ります。				
	<p>たけくらべ広場 春には、約6万人の花見客で賑わうなど新たな観光地として脚光を浴びているたけくらべ広場の管理運営を適切に実施することにより、利用者の利便性を高めるとともに、竹田地区の発展に寄与します。</p> <p>○委託料 指定管理委託料 4,229千円</p>				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐに行える改善提案	観光サービスの向上と施設の効率効果的な運営がなされているか点検・指導を行います。	
目標年度 未設定 年度		
取組状況	広場内の園路を舗装する等利用者の利便性の向上に取り組みました。	
中長期的に取り組むべき改善提案	設置目的、利用状況、経費負担、サービスの現状を踏まえ、指定管理者制度を継続します。	
目標年度 未設定 年度		
取組状況	現状を踏まえたうえで今後の指定管理の在り方について協議していきます。	

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	商工費	項	商工費	目	観光施設費					
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度			
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
		委託費	4,229	4,100							
		需用費	千円	千円	千円	千円					
		役務費	22	22	千円	千円					
		その他	3,123	144	千円	千円					
		事業費合計	7,374	4,266	千円	千円					
		人件費	正職員	0.19 人	1,335 千円	0.19 人	1,351 千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	0.19 人	1,335 千円	0.19 人	1,351 千円	人	千円	人	千円
	総事業費	8,709	5,617	千円	千円	千円	千円				
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円				
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
			地方債	千円	千円	千円	千円				
その他			1,229	1,233	千円	千円					
一般財源			7,480	4,384	千円	千円					
財源合計		8,709	5,617	千円	千円						

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	運営状況を把握し指導点検を行うとともに、契約満了時には評価を検証しながら、以降の管理運営に生かすよう努めます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現在の指定管理者制度による運営を継続します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状における経費負担を基本にしながらも、サービスの向上とコスト軽減につながるような運営のあり方を検討します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	経費負担の軽減とともに、人的負担の軽減につながるような管理運営のあり方を検討します。			
すぐに行える改善提案	観光サービスの向上と施設の効率効果的な運営がなされているか点検・指導するとともに、契約満了時には適切な検証・評価を行います。			
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	設置目的、利用状況、経費負担、サービスの現状を踏まえ、直営・業務委託・指定管理者制度等、今後の管理運営のあり方について検討します。			
目標年度	--	年度		

指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
成果	利用者・入場者（キャンプ・バーベキュー）	目標値	11000	達成率 8000	10000	達成率 405000
		実績値	10676	97.05	10541	131.76
活動	指導回数	目標値	15	達成率 15	15	達成率 12
		実績値	15	100	15	100
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				

【事業の成果】

事務事業名	三国まちなか観光施設管理運営事業			事業コード	07010510146
所管部署	観光産業課	電話	50-3152	記入者名	大井 美幸
事業対象	市内外の利用者および県内外の観光客				
総合計画	基本構想	住民とともに育むまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	効率的な行政運営の推進		事業種別	指定管理者事業
実施主体	指定管理者	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	
根拠法令	有	地方自治法第244条の2第3項			
根拠例規	有	坂井市公の施設の指定管理者の指定手続き等に関する条例及び同施行規則			
関連計画・マニュアル	無				
事業の目的・事業の概要等	市管理から指定管理者に移行することにより、利用者に対するサービスの向上と経費削減を図ります。				
	旧森田銀行本店・旧岸名家・三国湊町屋館 歴史的・景観的に優れた伝統的な建造物を保存・運営し、観光の活性化に努めます。 ○委託料 指定管理委託料 7,477千円				

すぐのできる改善提案	旧森田銀行・旧岸名家・三国湊町家館の運営については、平成29年度まで現在の指定管理者制度を継続します。	
目標年度 未設定 年度		
取組状況	定期的に管理者と情報交換を行いました。	
中長期的に取り組むべき改善提案	旧森田銀行・旧岸名家・三国湊町家館の運営については、平成29年度まで現在の指定管理者制度を継続します。	
目標年度 未設定 年度		
取組状況	定期的に管理者と情報交換を行いました。	

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

予算	款	商工費	項	商工費	目	観光施設費				
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	7,477	千円	7,250	千円	千円	千円	千円	
		需用費	142	千円	75	千円	千円	千円	千円	
		役務費	82	千円	74	千円	千円	千円	千円	
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費合計	7,701	千円	7,399	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.20	人	1,406	千円	0.20	人	1,422	千円
		臨時職員	0.00	人	千円	千円	人	千円	千円	
		人件費合計	0.20	人	1,406	千円	0.20	人	1,422	千円
	総事業費	9,107	千円	8,821	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	国県支出金		千円	千円	千円	千円	千円	千円
		使用料・手数料		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		分担金・負担金		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源		9,107	千円	8,821	千円	千円	千円	千円	千円	
財源合計	9,107	千円	8,821	千円	千円	千円	千円	千円		

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	旧森田銀行・旧岸名家・三国湊町屋館の運営については、平成29年度まで現在の指定管理者制度を継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	旧森田銀行・旧岸名家・三国湊町屋館の運営については、平成29年度まで現在の指定管理者制度を継続します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	旧森田銀行・旧岸名家・三国湊町屋館の運営については、平成29年度まで現在の指定管理者制度を継続します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	旧森田銀行・旧岸名家・三国湊町屋館の運営については、平成29年度まで現在の指定管理者制度を継続します。			
すぐのできる改善提案	旧森田銀行・旧岸名家・三国湊町屋館の運営については、平成29年度まで現在の指定管理者制度を継続します。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	旧森田銀行・旧岸名家・三国湊町屋館の運営については、平成29年度まで現在の指定管理者制度を継続します。			
目標年度 -- 年度				

指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度		
成果 旧森田銀行本店入込数	人	目標値	21000	達成率 23000	達成率 24000	達成率 32000		
		実績値	20404	97.16	27695	120.41	22157	92.32
成果 旧岸名家入込数	人	目標値	11000	達成率 10000	達成率 10000	達成率 10500	達成率	
		実績値	7577	68.88	9679	96.79	9353	93.53
活動 指導回数	回	目標値	15	達成率 15	達成率	達成率	達成率	
		実績値	15	100	15	100		
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率	
		実績値						
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率	
		実績値						
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率	
		実績値						

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

【事業のコスト】

【事業の成果】

【前年度改善案に対する取組状況】

【担当者評価】

【所属長評価】

事務事業名	企業立地促進基金			事業コード	13021100101
所管部署	観光産業課	電話	50-3153	記入者名	由川 直樹
事業対象	預け入金金融機関				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	工業の振興		事業種別	内部管理事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

企業立地促進事業に必要な財源に充てるための基金を設置します。

企業立地促進事業基金の管理
平成26年度末現在 基金残高 17,939,068円

すぐにできる改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	基金利息等を適切に積立します。
中長期的に取り組むべき改善提案	基金設置目的を踏まえ、適切に管理します。
目標年度 未設定 年度	
取組状況	基金利息を適切に積立します。

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	諸支出金	項	基金費	目	企業立地促進基金費					
		平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度			
コスト	事業費	報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		その他	13千円	13千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		事業費合計	13千円	13千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	人件費	正職員	0.01人	70千円	0.01人	71千円	人	千円	人	千円	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円	千円
		人件費合計	0.01人	70千円	0.01人	71千円	人	千円	人	千円	千円
		総事業費		83千円	84千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	13千円	13千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	一般財源	70千円	71千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	財源合計		83千円	84千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	企業誘致、立地促進を図るため、助成制度の安定的な運用を目指し、市財政状況を踏まえた上で現金金の達成を継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	市の産業振興、雇用確保、活性化を図るためにも、企業誘致・立地促進は重要であり、そのための助成制度を後押しする基金の設置は継続する必要があります。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	企業誘致・立地促進を図るための助成制度の安定的な資金としては、基金の現在高は決して十分ではありませんが、市の財政状況を踏まえた中で現在の状況を維持することとします。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現在の体制の中で対応していきます。			
すぐにできる改善提案	市の財政状況を踏まえながら運用していきます。			
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	市の財政状況を踏まえた上で、できる限り安定的な財源となるよう運用・達成します。			
目標年度	--	年度		

成果	指標名	単位	年度	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
基金現在高		千円	目標値	17839	達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値	17839	100						
活動		千円	目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値		---						
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

【事業のコスト】

【事業の成果】

【前年度改善案に対する取組状況】

【担当者評価】

【所属長評価】

事務事業名	温泉施設整備基金			事業コード	13021600101
所管部署	観光産業課	電話	50-3152	記入者名	吉江 辰史郎
事業対象					
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）
	基本計画	地域が一体となったもてなしのまちづくり		事業種別	施設管理事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	三国温泉施設整備の財源として基金を設置します。				
	三国温泉施設整備基金の管理 平成26年度末現在 基金残高 50,181,705円				
事業の目的・事業の概要等					

すぐにできる改善提案	基金の趣旨・目的に沿った事業において、市の財政運営方針に基づき活用していきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	基金利息等を適切に積立します。		
中長期的に取り組むべき改善提案	基金の設置目的を踏まえた運用を行ってまいります、基金管理所管について活用状況を踏まえ検討することとします。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	基金利息等を適切に積立します。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	諸支出金	項	基金費	目	温泉施設整備基金費					
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度			
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
		その他	38千円	32千円	千円	千円	千円	千円			
		事業費合計	38千円	32千円	千円	千円	千円	千円			
		人件費	正職員	0.02人	141千円	0.03人	213千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	0.02人	141千円	0.03人	213千円	人	千円	人	千円
		総事業費	179千円	245千円	千円	千円	千円	千円			
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円			
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他			38千円	32千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		141千円	213千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計		179千円	245千円	千円	千円	千円	千円				

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	市民の健康の増進と観光の振興に資する温泉施設の整備を行うために、財政状況を踏まえた上で基金の運用を継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	市の財政状況を踏まえた中で基金の運用を継続します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	市の財政状況を踏まえた中で基金の運用を継続します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の体制により継続していきます。			
すぐにできる改善提案	基金の趣旨・目的に沿った事業において、市の財政運営方針に基づき活用していきます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	基金の趣旨・目的に沿った事業において、市の財政運営方針に基づき活用していきます。			
目標年度 -- 年度				

事業の成果	成果	指標名	単位	年度	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度	
				目標値	50182	達成率	50144	達成率		達成率		達成率
		実績値	50182	100	50144	100		---				
	活動	指標名	単位	目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値		---						
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率	
			実績値									
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率		
		実績値										
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率		
		実績値										